

## 令和6年度第1回学校運営協議会 記録

日 時 令和6年6月11日(火)

9:30~11:30

場 所 高等部校舎会議室

### ○出席者

学校運営協議会委員5名 B委員(地域関係者)  
C委員(地域関係者)  
D委員(企業関係者)  
E委員(社会福祉関係者)  
F委員(P T A関係者)  
(A委員(社会福祉関係者)欠席)

学校関係者9名 校長、副校長3名、事務長、総括教務主任、  
小学部主事、中学部主事、高等部主事

### ～ 授業参観 ～

#### 次 第

- I 開会のことば
- II 校長あいさつ
- III 協 議
  - 1 令和6年度学校経営計画について
  - 2 特別支援教育のセンター的機能について
  - 3 開かれた学校づくりについて
  - 4 いじめ防止対策について
  - 5 学校評価実施計画について
  - 6 その他
    - (1) 令和5年度卒業生の進路状況
- IV 意見・提言
- V 閉会のことば

《授業見学》 ～10:10 （＊見学予定時刻～10:00）

- ・高等部「校内・現場実習」期間中  
1年生（23名）、2・3年生（5名）の実習の様子を見学。  
別紙授業一覧参照

《校長より委嘱状の交付》

- ・地域と一体となって進めていきたい。本校の使命は児童生徒の自立と社会参加と考えている。
- ・教職員、保護者、地域の皆様と一緒に学校運営を進めていきたいので、忌憚のないご意見とご指導をお願いしたい。

次 第

I 開会のことば（10:15）

II 校長あいさつ

III 協議

1 1) 教育目標～3) 運営の重点について

令和6年度学校経営計画…「2運営方針」を中心に校長より説明

- (1) 児童生徒の主体性を重視し、分かりやすさに配慮した授業の提供として進めている。
- (2) 児童生徒の社会的自立として、児童生徒の社会活動と小中高の一貫性と整合性で進めている。
  - ・発達年齢に応じ、体験学習を中心とした学びを組み立てている。
- (3) 特別支援学校としての役割として、インクルーシブ教育を推進している。
  - ・児童生徒の多様性を重視した教育を推進している。
  - ・地域の教育支援関係諸機関等と連携を取りながら、他業務も行っている。また、地域行事への参加も行っている（雪灯り、花苗プランターの設置等）
- (4) 復興教育と安全・安心な教育環境を重視している。
  - ・生きる力を育成するため、避難訓練の実施、警察学校の方に来ていただき、合同訓練を進めている。自分の命は自分で守ることも進めている。
- (5) P T A活動の充実と活性化を重視している。
  - ・学部毎のレクリエーションや保護者に対しての研修会を計画し、実施している。

本日は、様々なご意見をお願いしたい。

4) 学部・分掌説明…各学部長より説明

[小学部]

- ・学部目標より、子供たちそれぞれの生活年齢等に合った活動を行っている。本日も3年生が遠足に行っている。明日は2年生が遠足である。様々な体験を通して児童の育成を目指している。
- ・縦割りの活動として制作活動などにも取り組んでいる。

[中学部]

- ・小学部での経験を意識し、また高等部での生活を意識した生活を行っている。
- ・朝の活動などは、体育館やグラウンドを利用しながら、縦割りで体力づくりなどに取り組んでいる。
- ・作業学習は、縦割りで4つの作業班に分かれて行っている。昨年度から継続して、地域にプランターに植えた花を届けている。10月まで水やりも行う計画である。

[高等部]

- ・見学時にお話ししたとおり、高等部目標の高等部卒業後の生活を意識していくことを生徒に伝えながら、様々な活動に取り組んでいる。

[各分掌・学校概要] (高等部副校長)

- ・資料参照
- 2 特別支援教育のセンター的機能について (高等部副校長)
    - ・センター機能としての役割について資料を基に、成果と課題について説明
  - 3 開かれた学校づくりについて (高等部副校長)
    - ・今年度の学校運営協議会は、2回の開催を予定しており、第2回は令和7年2月12日(水)に実施予定
    - ・主要行事について説明
    - ・「学校へ行こう週間」について説明
    - ・授業参観について日程紹介
  - 4 いじめ防止対策について (高等部副校長)
    - ・本校としては、いじめ防止対策推進法を基本に考えている。(資料参照)
    - ・年3回の学校生活アンケートを実施している。
    - ・早期発見、早期解決の意識をもって取り組んでいる。
  - 5 学校評価実施計画について (小学部副校長)
    - ・資料を基に説明
    - ・集計結果について、学校運営協議委員の皆様には今年度も評価をお願いしたい。
  - 6 その他
    - (1) 令和6年度卒業生の進路状況について (高等部副校長)
      - ・中学部及び高等部卒業生の進路先と進路の取組(高等部)について、資料を基に説明
    - (2) 校報等の紹介 (高等部副校長)

IV 意見・提言

**【B委員】**

- ・委員の任期が3年となっているのであれば、今年で最後となるが・・・  
⇒再任妨げません。(校長)
- ・校長のお話が分かりやすかった。
- ・子供たちも様々ですので、それぞれの成長を妨げずという部分の説明が分かりやすかった。

- ・高等部見学時の生徒の作業中及び作業内容説明時の表情がよかった。
- ・生徒たちが成長し、やがて社会に出て行くというつながりが見られた。キャリア教育をすべての世代で回そうとしているのが分かった。目指す自立の世界が授業の中に位置づけられているのが分かった。
- ・青山一丁目町内会では、5月から11月まで、月初めの日曜日、朝6時から7時まで町内会清掃を行っている。私は学校前の通りの草取りを行っている。7年目である。町内会としても、環境美化に貢献していきたいと考えている。
- ・高等部の就労先にセイコー工業、第一商事などの名前があるが、現場の採用ですか？  
⇒その通りです。(高等部副校長)

### 【C委員】

- ・実習中の生徒の姿を見た。ありがたい。プランターを集会場の前に置いていただき助かっている。
- ・小中学部の運動会を見学した。

(以下4点 運動会についてのご意見等)

- ① 小中別々にやっているといっていたが、一緒にできないのか。  
校庭の広さや児童生徒の人数、競技の準備に差し支えるのか？時間的に一緒にやれば、いいとも考えるが、可能かどうか・・・
  - ② 運動会について、小学部の保護者の方がどのように考えて参観しているのか。私(C委員)の意見として、子供と保護者と一緒にできるレースがあればいいとも考える。保護者も一緒に出たいと考えているのではないであろうか。例えば、ボール転がしなどはどうか。
  - ③ 保護者がみんな立って見ていた。座って見るができるようにはならないか。
  - ④ 子供たちが一人一人目標に向かって頑張っていて取り組んでいた。短時間でやるのはもったいないと感じた。
- ・中学部と高等部の連携のあたりで、中学部の生徒は高等部に進学するが、どのような連携を取っているのか。今回の実習を中学部生徒が見て、刺激を受け、学びの場として交流を設けるのはどうだろうか。
  - ・高等部の実習先の多さに驚いた。現場実習をし、企業と学校とで評価をして、成果や課題が出てくるが、企業の人たちは学校にどのようなことを望んでいて、次にどうつなげていくのか知りたい。
  - ・校内実習を体験してから職場に出て行くことがとても大事であると思う。校内から現場へ出て行くことやそのことを知ることが、後輩にもつながっていくと考える。将来の自立に向けてとても大切だと考える。

### 【D委員】

- ・企業の一人として、今回も参加させていただいている。学校経営計画にもある社会的自立に向けて、本企業でも社会の中で生活できるような方を一人でも多く受け入れようと考えている。全体としての教育に加わることは難しいが、今後もこの様な形で取り組んでいこうと考えている。
- ・企業としての手前の事情としては、本企業は障がい者雇用を全ての店舗で受け入れようと考えている。すでに、障がい者が勤務している場所への新規の受け入れはできないが、かろうじて店舗数が多いので、盛岡以外の地域(滝沢、雫石、紫波あたり)は

まだ空いている店舗もある。できるだけ協力していきたい。

- ・雇用している方に関しては、店舗に出ている。そのため、生徒さんに対しても（雇用するにあたって）必要なものは、休まずに出勤してくれることを望んでいる。こつこつまじめに休まずにやってくれる方が貴重な戦力となってくる。
- ・先日、他の支援学校での企業説明会でも伝えてきたことではあるが、「体に気を付けて元気でいてください」と伝えてきた。きちんと朝、決められた時間に出勤することが大事になってくる。障がい者の方は仕事が別になっているのではと聞かれるが、一戦力となっている。働く本人たちの満足感が課題となっているが、今後も大事な戦力となっていることを伝えていきたい。
- ・みたけ支援学校の卒業生も盛岡市内の店舗に4名いる。皆さん3年以上勤務されていて、6年勤務されている方もいる。体調を崩さず、働いている。今後ともよろしくお願ひしたい。

#### 【E委員】

- ・本学園に入所されている方は、家庭に事情のある方もいるが、障がいをもっている方もいる。
- ・発達障がいをもっている学園生など、D委員のお話にあった「休まずに・・・」ということが大切だと考えるが、そこが課題であると感じている。別な支援校（みたけ支援以外）に通っている学園生がいるが、やはり学校を休んでしまう。
- ・先日、この4月にスーパーに就職した卒園生が学園に顔を出してくれた。緘黙な子供ではあったが、休まずに通勤しているということであった。
- ・社会的自立と社会参加体験をすることが大事と校長先生のお話にあった。子供の貧困ということの中に、体験の貧困ということもあると考える。将来に向けて、家庭の経済力もあるが、学校での体験ということが大切になってくると考える。「自己決定」が大事との話もあったが、様々な経験をしていくが大事と考える。今日の高等部の実習で作っていたゼリーの中身を、みかんにするかパイナップルにするかなど、小さいけれども自己決定が大切と考える。

#### 【F委員】

- ・長女が中1になった。
- ・高等部を見学して、他校を卒業した生徒とみたけ支援の中学部卒業生との様子を見て、発達の差が大きいと感じた。教師の質問に全部答えることのできる生徒もいれば、着替えが難しい生徒もいることが分かった。
- ・運動会の話として、他の学部も見たいという感想もある。今年中学部の様子を見て、生徒たちの中には勝ち負けを意識しながら取り組んでいる様子や、取り組みへの期待感をもって取り組んでいる様子を見ることができてうれしかった。小学部の児童の様子を見ても、自分の子供が小学部だった頃のことを振り返りながら見ることができるとは思うが、兄弟姉妹が複数いると、運動会の日が重なることもある。学校が近いご家庭は兄弟姉妹全員の運動会を見ることができるとは思うが、自宅から遠い学校に通っている場合は、保護者が分かれて参観することになってしまう。（長時間の拘束は困る？）

○参加者からの質問

## 《C委員》

- ・避難訓練の回数を教えてほしい。  
⇒年3回である。
- ・先週小学校へ行った際、地震を想定した訓練を行っていた。私は滝沢市であれば、岩手山のことも課題となってくると考える。岩手山が噴火した場合、私たちはどこに避難すればいいのか、また泥流が発生すると、諸葛川に来る。みたけ支援学校も危険区域となる。火山については、どう考えるか。また、大雨などの水害などについての備えも大切になってくると新聞で見たが、そちらについても避難の仕方などを検討する必要があると感じたことがあった。自然のことなのでどうなってくるかわからないが、みたけ支援学校としてはどう考えているのか。
- ・昨年、石巻市を訪問した際、予期せぬ災害時には大人でもパニックになるという話を聞いてきた。  
予想ができないと人間はパニックになる。車の混雑や停電、勝手な非難も想定される。どうしていくべきかを考えた際、警察の方からは、指導員でも自分の身を守ることを大切にしてほしいという話も聞いた。

## ○熟議

- ・学校周辺に花を置いていきたいと考えている。今年度は、学部ごとに取り組んでいる活動ではあるが、皆様からのお考えも伺いたい。(高等部副校長より)
- (B委員) 環境整備は必要と感じているので、来年度も継続して取り組んでいただければありがたい。平和のシンボル、希望のシンボル、潤いとして、設置していくことを望みます。
- (C委員) 花があるか、ないかで地域の雰囲気は全然違うと感じる。地域にみたけ支援学校があることを知らない人もいるので、周知にもなると考える。また、プランターにきれいな花が咲いていると、嬉しい気持ちになるので、できる範囲で続けてほしい。
- (D委員) お花を設置していくことはいいことだと考える。本企業が参加するとなると、店舗前に置いていただくことになるが、ここで店舗前への設置に関して回答することは難しい。100パーセントOKとは言えない。
- (E委員) 本学園の生徒も毎年5月末に学園の前や郵便局、病院にプランターを置いている。子供たちが直接感謝され、自分たちが持って行った花が手入れされていると、嬉しい気持ちになるようである。
- (F委員) 生徒のやりがいになり、ありがたいと考えるが、置かれた方の負担感はどうだろうか。設置されると、水やりなど手入れが大変と感じる場合もあるのではないかと。自分の子供が通う学校からの依頼で地域に置いたプランターの手入れをしている保護者の中には、花への水やりや枯れた花を取ったりすることが嫌であったり負担と感じている方もいる。プランターを設置する際に、手入れについての了承や理解をしていただいた上での活動であればよいかと考える。

## ○その他

### C委員より

- ・自治会で、9月に作品展がある。小中学部からの作品を出していただきたいが、いかがか。  
⇒中学部副校長：日にちを教えてください。

⇒C委員：9月29日である。文書が整い次第持参したい。みたけの杜にも声を掛けている。

校長より

- ・花（プランター）の展開については模索中である。
- ・花に係る活動を中心にしながら、地域との関りをもち、児童生徒の自己肯定感へのつながり、さらには、地域とのつながりになればよいと考える。また、本校への理解を深めていくことにつながればと考えている。「つながり」をキーと考えている。プランター設置後についてもどうしていくか考え、学びへのつながりを考えていきたい。

#### V 閉会のことば

今回は2月の開催となる。よろしくお願いいたします。